

Forest Fest コンセプトへーハ

この参加型アートプロジェクトは、私たちと木との関係を、多感覚的かつ体現的な方法で見つめることを目的としている。このプロジェクトは、マルチサイトのニューメディア・インスタレーションを中心に、その制作過程や展示期間中に、いくつかの補足的なイベント(ガイド付きウォーキング、ワークショップ、オンライントークなど)が行われる。

このプロジェクトでは、黄金町の地域住民、特に高齢者に、木にまつわるエピソードを語ってもらおう。これらのストーリーはオーディオやビデオで記録され、作品の一部となる。インスタレーションは、ビデオマッピング、エキサイター／触覚トランスデューサー、再生AIとともに、物理的な素材としてさまざまな種類の木を使用する。

このアートインスタレーションは、現代社会における儀式の役割を探求する。新しいメディアを使って、つながりを育み、社会的孤立に対処する儀式を創造し、調査することを目的としている。期待される「儀式のための空間」を超えて、このプロジェクトは変容的な出会いを促進するための代替空間を検討する。参加者は、私たちと自然や建築環境との絆のメタファーとして樹木に関わり、文化的規範と、それが樹木との交流、他者との交流、そして自分自身との交流に与える影響について熟考する。

儀式が私たち自身や他者、自然とのつながりに与える影響を探ることで、参加者に現代の儀式を形成する上での自分の役割や、急速に変化する社会におけるその意義について考えるよう促したい。このプロジェクトは、社会的孤立や孤独の影響を受けている人々に慰めを提供できるような、人間と自然の真のつながりを促進する空間を創造することを目指している。